

Earth Chemical Co.,Ltd.

環境報告書 2011



ベ ス ト ク オ リ テ ィ で 世 界 と 共 生



森林管理協議会 (Forest Stewardship Council™) で認証された森林および管理された森林からの原料を含む「FSC認証紙™」を使用しています。



VOC (揮発性有機化合物) 成分を含まない100% 植物インキで、大気汚染の防止に配慮しています。



印刷時に有害な物質を含む浸し水が不要な「水なし印刷」を採用しています。

2011年6月発行



Contents

企業情報・事業概要	2
トップメッセージ	3
特集 アース製薬のものづくり	5

環境報告

環境負荷の全体像	9
環境保全目標と実績	10
事業活動における環境配慮	11
製品における環境配慮	14
環境マネジメントシステム	15

社会性報告

お客様とのかかわり	16
社員とのかかわり	17
地域社会とのかかわり	18

編集方針

本報告書は、アース製薬の環境活動の考え方と2010年度の取り組みをできるだけ分かりやすくお伝えすることを心掛けて作成しています。本報告書を通じて、ステークホルダーの皆様にアース製薬へのご理解をより深めていただきたいと考えています。

対象範囲 アース製薬株式会社

対象期間 2010年1月1日～12月31日
一部、直近の活動内容も記載しています。

お問い合わせ先

アース製薬株式会社 環境保全委員会事務局
TEL:0791-48-8001 FAX:0791-48-0706

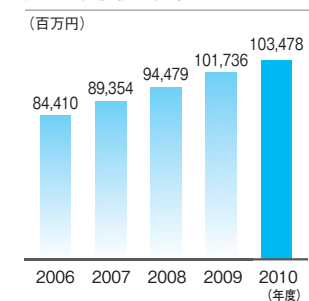
「ベストクオリティで世界と共生」を社是に

独自の視点と発想で新しい価値を生み出し、
世界の人々の暮らしに貢献していきます。

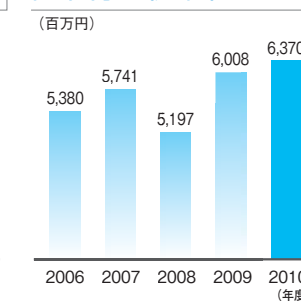
企業情報

名 称	アース製薬株式会社
本社所在地	〒101-0048 東京都千代田区神田司町二丁目12番地1
設 立	1925年(大正14年)8月26日
資 本 金	33億7,760万円

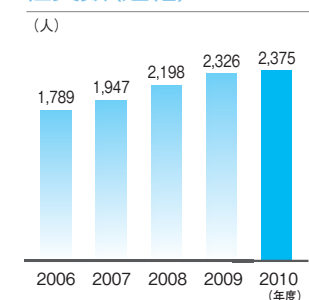
売上高(連結)



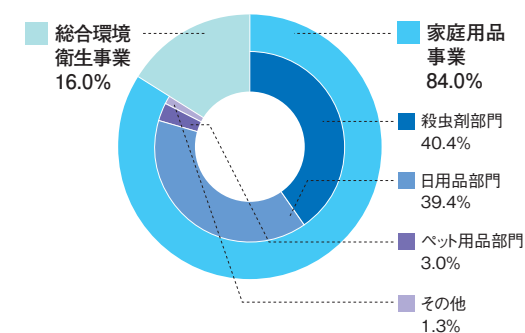
経常利益(連結)



社員数(連結)



セグメント別売上高構成比(2010年度)



事業概要

家庭用品事業

●殺虫剤部門

家庭用殺虫剤市場シェアの約50%を占めるトップメーカーとして、ゴキブリ捕獲器「ごきぶりホイホイ」、加熱蒸散殺虫剤「アースレッド」、ダニ用殺虫剤「ダニアース」、液体電子蚊とり「アースノーマット」、アリ用誘引殺虫剤「アリの巣コロリ」、ゴキブリ用エアゾール「ゴキジェットプロ」やコバエ誘引殺虫ポット「コバエがホイホイ」など、数多くの製品を開発し、お客様の支持をいただいています。



●日用品部門

洗口液「モンダミン」、入浴剤「バスロマン」、消臭芳香剤「消臭たまご」など、お客様の衛生意識の高まりや生活スタイル、居住環境の変化に即した製品を製造販売しています。また、世界有数の医薬品メーカー英国グラクソ・スミスクライン社の入れ歯洗浄剤「ポリデント」やハミガキ「アクアフレッシュ」、世界有数のトイレタリーメーカー英国レキットベンキーザー社の食洗機用洗剤「フィニッシュ」や薬用石鹸「ミューズ」、自動消臭芳香スプレー「エアーウィックiモーショ」などの販売も行っています。



総合環境衛生事業

食をはじめとする製品の安全・安心への意識の高まりや、企業における品質・衛生管理の徹底が求められていることを踏まえ、工場・店舗の総合的な環境衛生管理や病院における感染防止などの事業活動を行っています。



「社会になくても ならない存在」で あり続けるために

アース製薬株式会社
代表取締役社長

大塚 達也

去る3月11日に発生した東日本大震災により、被災されました皆様には心よりお見舞い申し上げます。また、被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

アース製薬といたしましても、今後とも継続して支援を行ってまいります。

「アース」を社名に掲げる企業として グローバルな視点に立って社会に貢献します

「殺虫剤はアース」と高い知名度をいただくアースブランドは、創業者である木村秀蔵が『地球印』をシンボルマークに掲げたことに由来します。100年以上も前からグローバルな事業展開と貢献を目指していたことを物語っています。今日、当社の事業は日本だけにとどまらず、アジアをはじめ世界の各地域へと裾野を広げつつあります。特にアジアの国々の中には衛生管理がまだ十分ではないところもあり、高品質で効果の高い製品の提供を通じて貢献していく考えです。各国の経済水準に合わせ、高品質であっても誰もが手に入れやすい価

格を実現するため、コストの低減に努力していく必要があります。それとともに、企業としての責任もグローバルな視点を持たなければいけません。

企業活動には経済的な価値だけでなく、地球環境や社会への貢献など、総合的な価値でより多くのステークホルダーからの信頼を得ることが求められています。アース製薬は、生活空間を豊かで快適にする製品を世に送り出し、社会になくてもならない存在として認められる企業であり続けたいと考えています。社是である「ベストクオリティで世界と共生」はその思いを言葉にしたものです。そして、その精神は当社の環境に対する理念である「環境宣言」にも盛り込み、全社を挙げて地球環境の問題解決に取り組んでいます。

当社では2015年度までの5カ年目標を2010年4月に策定し、工場・オフィス・物流などあらゆるプロセスでの環境負荷を低減する考えです。社会情勢の変化や科学技術の進展に速やかに対応し確実に達成していくために、長期目標ではなく、あえて5年というより確実性のある中期目標にしています。「目標を立てたら、必ず達成する」のが当社のポリシーであり、

さまざまな社会問題をビジネスの力で解決していく上で一定の成果を挙げるのに必要な期間だと考えています。

暮らしに身近な企業として 環境問題を考え、解決します

地球温暖化の進行は、生態系にも大きな影響を与えています。昨年、名古屋で開かれたCOP10(生物多様性条約第10回締約国会議)でも、生物多様性を重視した人間の暮らしを考える必要性が示されました。殺虫剤メーカーであるアース製薬は、どちらかという環境に悪い影響を与える物質を扱っているというイメージがあり、肩身の狭い思いをしている部分もあります。だからこそ、生態系に従うべきところと、人間の生活空間の快適性とのバランスを見極め、高いレベルで両立させることに主体的に取り組まなければなりません。

また近年、環境負荷が低く、使う人にとっても優しい製品を求めるお客様の声はますます高まっています。当社でもこうしたニーズを重要なテーマだと考え、製品開発に力を入れています。具体的には、化学薬品を使わない植物由来成分の殺虫剤「アースガーデン(ナチュラルシリーズ)」、天然ワサビ効果の防虫剤など、自然界にある力を生かした製品のラインナップを強化しています。

アース製薬の強みを生かして 社会的な課題に取り組めます

2010年2月には、一昨年のマラリア対策支援事業「ストップモスキートプロジェクト」が日本政府から紺綬褒章を受章しました。購入者参画の仕組みとケニア赤十字社の保健医療活動の支援が、公益性の高い社会貢献活動として評価されました。お客様に問題意識のきっかけを提供し一緒に取り組めたことは、暮らしに身近な企業として、とてもうれしいことです。

また、蚊が媒介するマラリアなどの感染症で、今も世界中で年間100万人以上の方が亡くなっていると言われていました。国連が2015年の達成を目指す「ミレニアム開発目標」にもマラリアの発生阻止が掲げられており、まだまだ道半ばです。現在、帝人株式会社様と共同で防虫機能ウエア「SCORON®」をご提供できるよう新たなプロジェクトを進め

ており、この問題にも積極的に貢献したいと考えています。

全員参画でモチベーションを高め 環境保全活動を推進します

「目標を立てたら、必ず達成する」といつもコミットしています。2010年度は、基準年度である2006年度に対してCO₂排出量が19%、廃棄物排出量は32%、水使用量は49%の削減と、確かな成果を残すことができました。これは社員一人一人が本気で取り組んでいることの証だと思っています。

生産部門では、社員からの問題点の提起や問題解決のアイデアを募り、実行に移す「カイゼン提案活動」が大きな成果に結びついています。自らのアイデアが実行されることで、モチベーションも向上し、ポジティブな取り組みにつながっています。また、営業部門は、過剰な流通在庫を減らす効率的な販売によって、CO₂や廃棄物などの環境負荷の低減を図っています。

このように、それぞれの部門が責任を持って社員全員参画で環境保全活動に取り組んでいます。

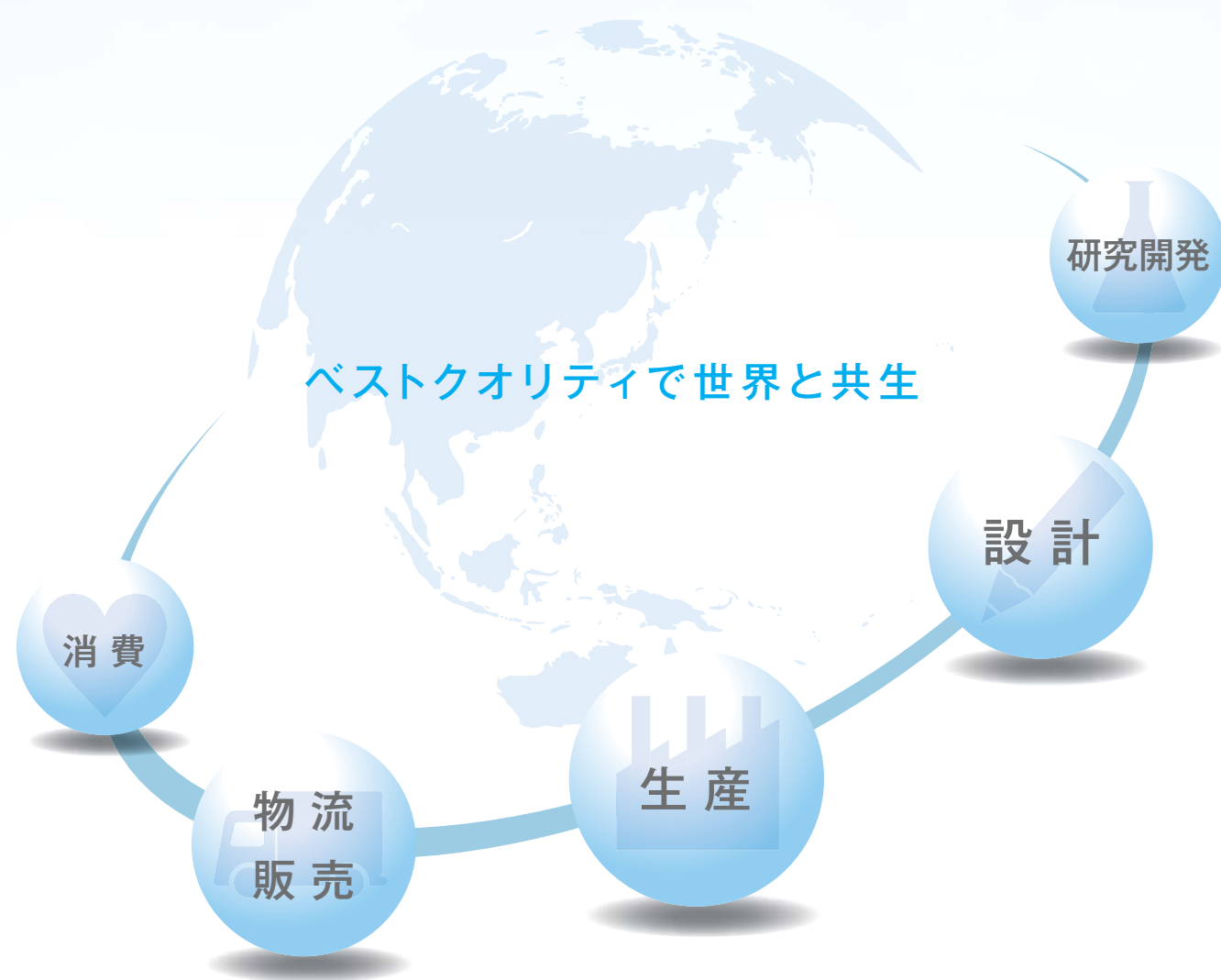
アース製薬がこれから50年、100年と社会になくてもならない存在であり続けるために、環境経営は不可欠です。同時に、今後の環境活動において重要なのは自社だけではなく、ステークホルダーの声に耳を傾け、ともに考え、一緒に行動することです。アース製薬はこれからも世界の人々と、そして地球環境と共生していくために活動を推進していきます。

環境宣言

私たちアース製薬は
「ベストクオリティで世界と共生」の
基本理念のもと、
あらゆる事業活動に対し、
自ら積極的に地球環境保全に配慮し、
世界の人々の暮らしに貢献します。

優れた品質と環境への配慮を 高い次元で両立させます。

アース製薬が社是とするのが「ベストクオリティで世界と共生」です。
お客様の期待を超える優れた品質と高い安全性を常に追求するとともに、
これからの時代に求められる環境に配慮したものづくりを両立させることで、
安心、安全、快適な生活空間の創造に貢献します。



環境に配慮した製品づくり



研究開発

「アースノーマット」は、
長時間使用できるよう
日夜開発を続けています。



研究部
延原 健二

1984年の発売以来、「アースノーマット」は液体蚊とりとして
多くのお客様にご愛用いただいています。蚊の発生するシーズ
ンは地域によっても異なりますが、長期間にわたるため、頻繁に
交換しなくても済むことが、利便性の向上と環境配慮につなが
と考えています。そこで、当社は独自の研究を重ね、サイズは
同じながらも効き目の持続期間を最大180日まで持続させるこ
とに成功しました。これによって、省資源とお客様側で出るごみ
を減らすことに貢献しています。



アースノーマット
取替えボトル 30日用



アースノーマット
取替えボトル 180日用

6倍長持ち



設計

つめかえ製品(リユース)など
3Rの視点で
製品づくりを行います。

容器の包装は役目を終えた時点で廃棄物となるため、
常に3R「リデュース(減らす)、リユース(再使用)、リサイク
ル(再資源化)」の視点を持つことが重要です。「おすだけ
ノーマット」は当社がいち早く開発した極めて少量で効果
を発揮するスプレー式のつめかえ製品となっています。こ
のほか、「バポナ 虫よけネットW」「虫こないアース あみ戸
に貼るだけ」など一部製品ではペットボトルなどのリサイク
ルプラスチックを使用しています。



おすだけノーマット
180日セット



おすだけノーマット
つけかえ 120日分

消費

天然成分の製品ラインナップを
強化しています。

近年、自然派志向により天然成分の製品を使用したいという
お客様のニーズも増えてきました。こうしたニーズをいち早く
先取りし、長く蚊とり線香にも使われてきた除虫菊エキスや
ハーブ、あるいは食品などの天然由来成分を使用した製品のラ
インナップを強化し、より安心してお使いいただけるよう取り組
んでいます。

天然成分の製品の一例

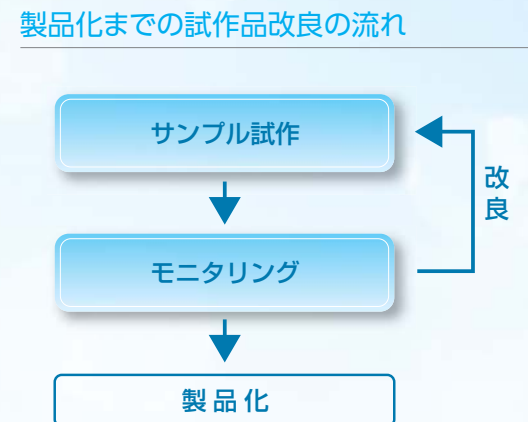


研究部
小堀 富広

安全で高品質な製品の提供

設計 モニタリングにより
試作品を徹底的にチェックしています。

安全で使いやすい製品をお客様にお届けするため、設計段階で社員を対象にモニタリングを必ず実施し、使用感を確認するとともに誤使用が発生しないかをチェックしています。製品の検討も終盤になると、試作品を用いた最終チェックを行います。この段階では、社内モニターのほか、社員の家族を対象としたモニタリングを実施することもあります。このモニタリングは、より安全で使いやすい製品の開発に欠かせない取り組みだと考えています。



生産 「ベストクオリティ」実現の
ための生産体制を
構築しています。



生産の各過程で、安全性・機能性の検査体制を整え、品質を確保しています。製品に異物が混入していないか、不具合が生じていないかなど、カメラなどによる自動検査に加え、目視での検査も行っています。異常に気付いた場合、発見者には自らの判断で生産ラインを即時停止する権限を与えています。この小さな異常さえ見逃さない姿勢が、高品質で効率的な生産を実現し、「ベストクオリティ」の製品づくりを支えています。

消費 できる限り簡単・安全に
製品を使っていただく
工夫をしています。

2010年度に発売した「コバエこないアース」「ネズミのみはり番 スーパーワサビ」は、ワサビ由来の成分を使用していますが、製剤そのものに触れずに使用できるよう設計には試行錯誤を重ねました。天然由来成分でも刺激があるため、使用時の安全性には最大限の配慮をしています。また、取り扱い説明に図解を多用するなど、分かりやすく簡単にご使用いただけるよう工夫を凝らしています。



ステークホルダーの皆様からのメッセージ

お取引先(包装資材メーカー)の声

包装資材の削減に向けて対話を重ねています。

私たち包装資材メーカーが扱っている製品は、使用後は「ごみ」となってしまうものが大半で、数年前から3R (Reduce、Reuse、Recycle)を基本方針としてこの問題に取り組んでいます。

アース製薬様とはVA*の観点から、今使用されている包装資材がオーバースペックになっていないか、さらなる減量化は図れないかなどを常に議論し、2010年度は数多くのご採用をいただくことができました。

さらに、車社会でハイブリッド車や電気自動車が話題に

なっているように、私たちも限りある石油をいかに使用しない包装資材を社会に提供するかを考え、紙容器化への転換を推進しています。今さら、焼いもを新聞紙に包むような社会に後戻りできませんが、こういった地道な環境保全活動なしに企業の存続はありえないということを強く認識し、これからもアース製薬様と一緒にこの問題に取り組んでいきたいと考えています。

※ Value Analysis (価値分析)の略。いかに高価値なものを安価に提供するかを追求する分析手法。

お客様(社員のご家族)の声

工場を見学して信頼感が高まりました。

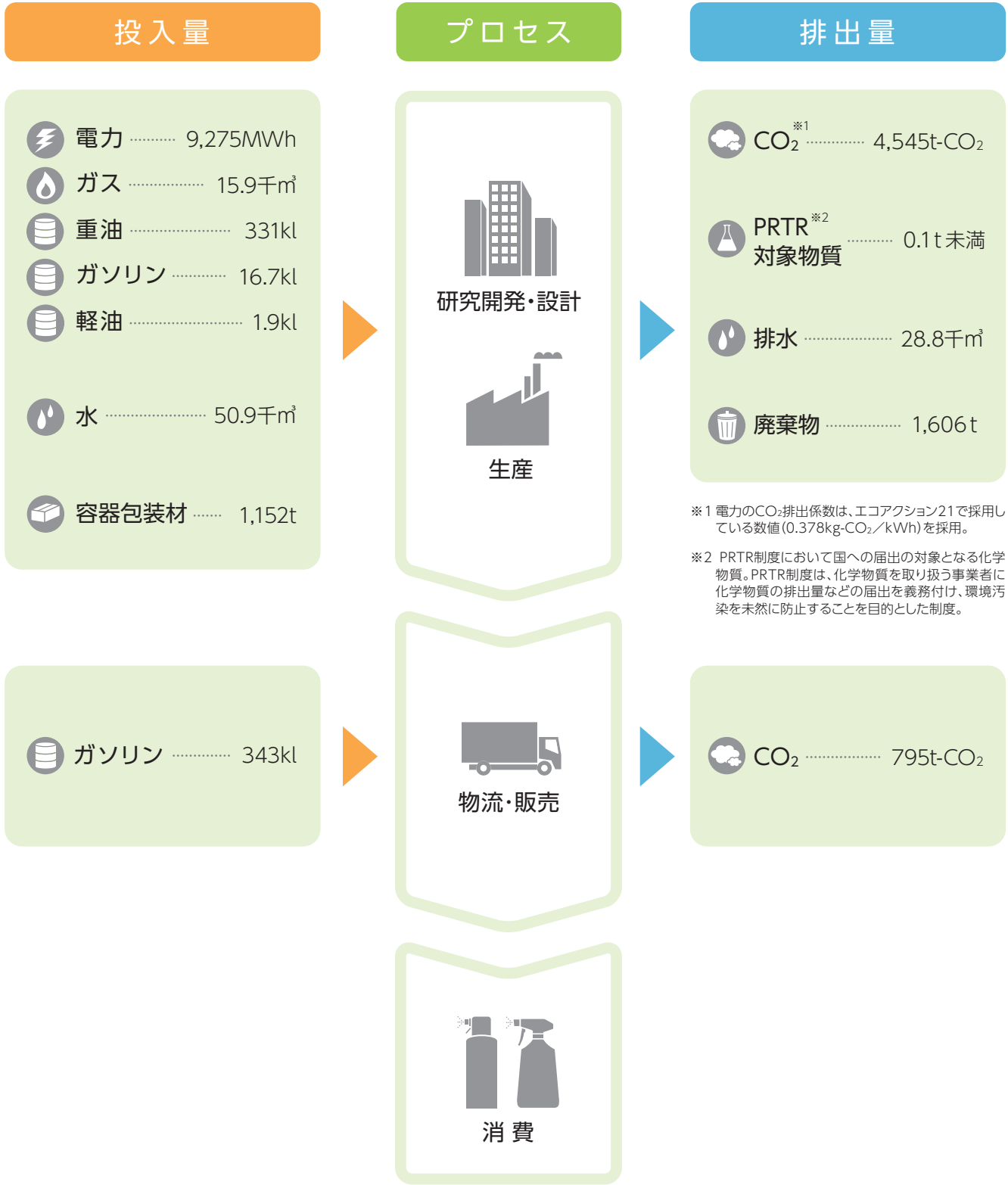
夏休みに開催された社員の家族を対象とした坂越工場の見学に参加しました。「ごきぶりホイホイ」などを作っている様子を間近で見ることができ、私も小学生の頃に返った気分子どもたちと興味津々で見入っていました。また、虫類の飼育、殺虫試験、品質管理の様子など、ものづくりの舞台裏の見学に加えて、入浴剤「バスロマン」の手づくり体験もでき、イメージしていた工場見学とは異なる子どもも大人も楽しめるツアーでした。

見学個所はほんの一部かもしれませんが、私たち社員の家族に安心感を与えてくれる機会でもありました。今後とも、素晴らしい製品を作ると同時に、社員とその家族に夢も与えてくれる会社であり続けてほしいです。



工場見学に参加いただいたご家族と記念撮影

環境負荷の全体像



環境保全目標と実績

【評価基準】 ○：達成 △：前年度より改善したが未達成 ×：未達成 (削減目標値は2006年度比※1)

	2010年度			2011年度の目標	2015年度の目標	参照ページ
	目標	実績	評価			
地球温暖化防止・省資源・省エネルギー	【CO ₂ 排出削減】 CO ₂ 排出量：16.3%削減	18.7%削減	○	CO ₂ 排出量： 19.8%削減	CO ₂ 排出量： 20%削減	P.11
	【物流のCO ₂ 排出削減】 CO ₂ 排出量原単位※2： 1%削減	10.7%削減※4	○	CO ₂ 排出量原単位： 11.6%削減	CO ₂ 排出量原単位： 6%削減	
	【節水】 水使用量：42.5%削減	49.3%削減	○	水使用量： 50.3%削減	—	P.12
	【コピー用紙使用量の削減】 コピー用紙使用量： 18.2%削減	20.8%削減	○	コピー用紙使用量： 22.4%削減	—	—
廃棄物対策	廃棄物排出量：7.0%削減	31.9%削減※4	○	廃棄物排出量： 33.7%削減	廃棄物排出量： 11%削減	P.12
グリーン購入 ^{※3}	グリーン購入比率： 95.5%	97.3%※4	○	グリーン購入比率： 97.5%以上	グリーン購入比率： 96%以上	P.13
製品	既存製品の環境配慮提案： 30件	67件	○	製品の環境配慮提案： 100件	・環境配慮製品の 開発推進 ・包材資材の減量化	P.6 P.14
情報開示	環境報告書の初発行	発行 (7月)	○	環境報告書の発行	・環境情報ホームページ の充実 ・環境報告書などの 充実	—

※1 「物流のCO₂排出削減」の目標および実績は2009年度比。

※2 輸送量当たりのCO₂排出量。

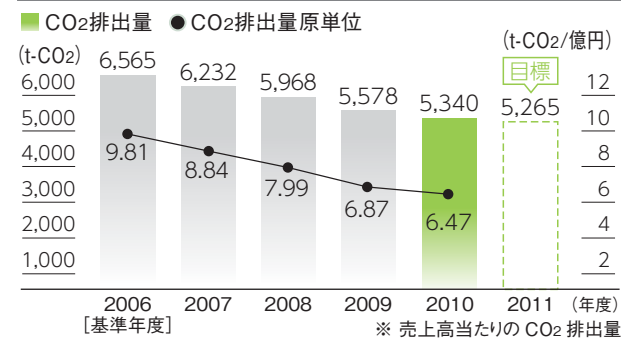
※3 環境負荷ができるだけ小さい製品やサービスを、環境負荷の低減に努める事業者から優先して購入すること。
当社の「グリーン購入比率」は事務消耗品購入費に占める割合としています。

※4 2015年度目標を達成しましたが、2011年度目標でも設定のとおりに、今後もさらなる向上を図ります。

事業活動における環境配慮

地球温暖化防止

CO₂排出量とCO₂排出量原単位*



トラックへの積載効率の向上や物流拠点の見直しを推進

物流時のCO₂排出量を削減していくため、物流委託会社と推進会議を定期開催するなど、連携して取り組んでいます。2010年度は小型トラックから大型トラックへの転換や物流拠点の見直しなどを図りました。この結果、2010年度の輸送量当たりのCO₂排出量は2009年度比で10.7%の削減となり、目標を達成することができました。今後はモーダルシフト*の拡大など、より効率的な物流に努め、CO₂排出量の削減を図っていきたく考えています。

* 環境負荷のより小さい輸送を行うため、輸送手段を換えること。

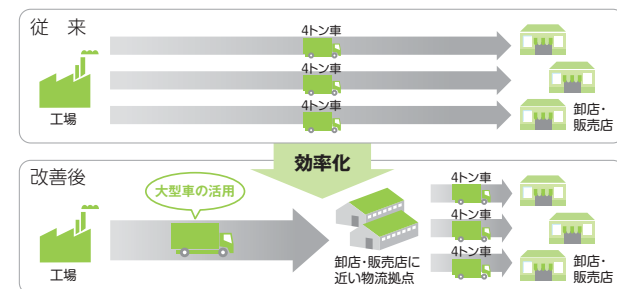
工場内の照明や空気圧縮機などを更新

工場では2015年度目標の達成に向けて、あらゆる設備や生産プロセスの効率化に向けた見直しを行い、CO₂排出量削減のための改善を続けています。2010年度は、照明、空気圧縮機、変圧器の更新や生産プロセスの改善などにより、2009年度比5.8%の264トン-CO₂を削減し、工場全体でのCO₂排出削減目標を達成することができました。今後も省エネルギー機器の導入など、取り組みをさらに強化していきます。

営業車として低燃費・低排出ガス車を導入

オフィスにおいては、昼休みの一斉消灯の実施や電力の使用状況に応じて空調設備を自動停止させるデマンドコントロール装置の設置などにより、電力使用量の削減に努めています。このほか2010年度は、営業車として155台の低燃費・低排出ガス車を導入しました。このような取り組みの結果、オフィスにおける2010年度のCO₂排出量は、2006年度比で10.4%の削減となりました。また、ハイブリッド車の導入も始めており、営業車への採用も検討中です。

トラック輸送の効率化



昼休みの一斉消灯の効果

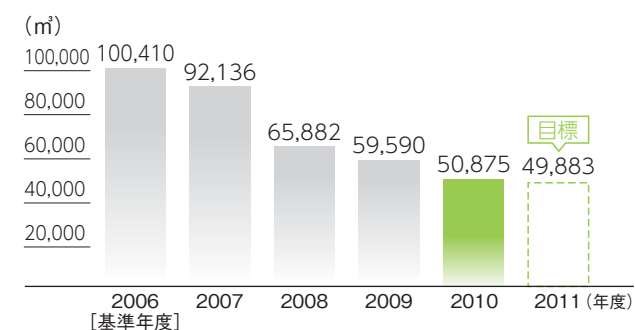
総務部
鯨井 理雄



全社的に昼休みの一斉消灯を実施しています。当初、これまでと違った取り組みに戸惑いを感じていましたが、今では自然と誰もが消灯するようになっています。消灯によるCO₂削減効果はわずかかもしれませんが、それによって環境保全への意識が全社に広がっています。小さな活動ですが、エコを考える大きなきっかけとなっています。

節水

水使用量

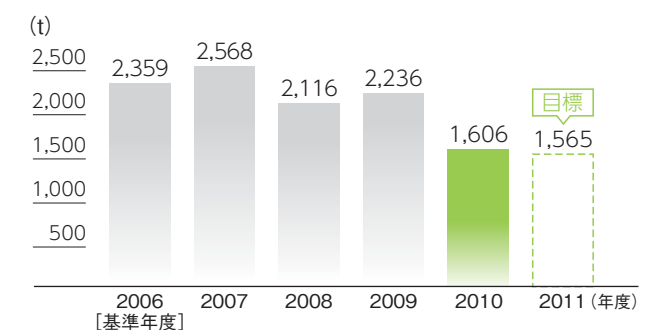


設備の見直しや水使用量のチェックを継続

今後世界的に水資源がより貴重なものになるという認識のもと、その使用量の削減に努めてきました。設備、使用方法の見直しや水使用量のチェックなどを継続して行っているほか、2010年度は本社にトイレ流水擬音装置を設置しました。また、社員の節水意識を啓発する活動にも注力し、2006年度比で49.3%削減するという大きな目標を達成できました。

廃棄物対策

廃棄物排出量



廃棄物の発生抑制と再資源化を推進

2015年度に廃棄物排出量を2006年度比11%削減するという中期目標を掲げ、廃棄物の発生抑制と再資源化に努めてきました。2010年度、工場では、生産効率アップによる廃棄物の発生抑制、廃棄物の分別徹底による再資源化の拡大などに取り組み、本社でも廃棄物の再資源化に着手しました。また、廃棄物の増大につながる返品削減についても、取引先と協力して取り組み、返品関連の廃棄物を2006年度比で23.0%削減することができました。これらの活動により、廃棄物全体では2006年度比31.9%削減でき、2010年度の目標を達成することができました。

分別事例 (アースノーマット)



化学物質の管理

各 工程で化学物質を適切に管理

当社では、さまざまな化学物質を扱っています。そのため、社員や工場周辺住民の安全衛生の確保はもとより、あらゆる生態系に影響が出ないよう、適切な化学物質の管理に努めています。

研究所では、毒物や劇物だけでなく、そのほかの化学物質も必要に応じて施設管理を徹底するとともに、試験・分析で使用する薬品、発生する廃液などはすべて回収し、産業廃棄物として適正処理しています。

工場においては、殺虫成分などが含まれている可能性のある洗浄水を回収したり、揮発性化学物質の取り扱い場所を限定して排気設備を充実させたりすることで、化学物質の拡散防止を図っています。このほか、廃棄処理される化学物質の発生を抑制するため、生産ロスの低減にも努めています。

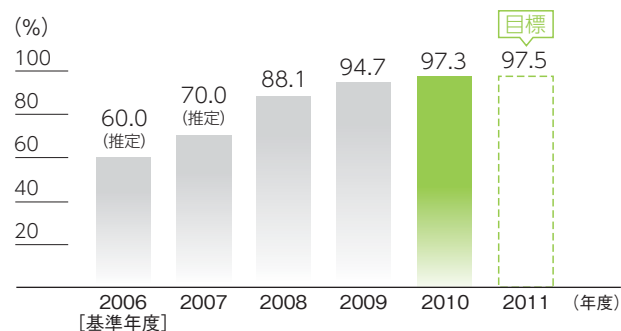
化学物質のリスク管理に努めています

掛川工場
寺田 繁和

当社の殺虫剤は家庭用ですので、製品レベルでは人や環境への影響が考慮されていますが、私たちの生産工程では殺虫成分などを直接使用しますので、より厳密な管理体制で取り組んでいます。どんな作業にも細心の注意を払うことはもちろん、作業ミスや設備不良による軽微な事故さえも発生しないよう、作業者への取り扱い教育や設備点検を定期的実施しています。さらに、万一の事故を想定した緊急対応訓練も定期的に行うなど、徹底したリスク管理に努めています。

グリーン購入の推進

グリーン購入比率



環境負荷の小さい製品を積極的に購入

2015年度に事務消耗品のグリーン購入比率を96%以上にすることを中期目標に掲げ、環境負荷のできるだけ小さい製品やサービスを優先して購入しています。2010年度は、特殊用途のものを除いた用紙類についてグリーン購入品への切り替えが完了し、用紙類のグリーン購入比率が100%となりました。事務消耗品全体でも97.3%の実績となり、2010年度の目標を達成できました。今後は社員への啓発などに加え、より効率的にグリーン購入を進められるよう、システムの改善も進めていきます。

製品における環境配慮

環境配慮型製品の開発

品質を維持しながら環境への負荷を低減

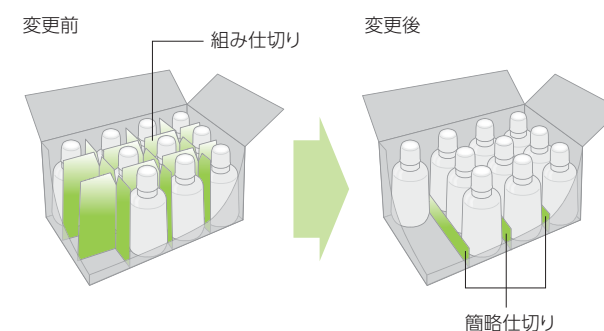
お客様に提供する製品のライフサイクル全体で発生する環境負荷を低減していくことが重要であると考え、「環境配慮型製品開発指針」を作成しています。この指針のもと、再生素材の活用や製品の小型化・ロングライフ化など、環境配慮型の製品づくりに努めています。

製品の包装資材の削減にも取り組んでいます。2010年度は、「モンダミン」の梱包用仕切りを簡素化し、その使用量を従来より約95%削減するなど、既存製品の梱包方法の見直しも進めています。

製品設計における取り組み事項

- グリーン調達
- 化学物質対策
- 省資源化
- 廃棄対策

モンダミンの梱包用仕切りの簡素化



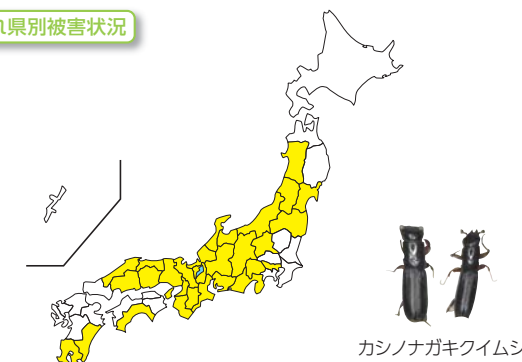
Topics

カシノナガキクイムシによる生態系の破壊を防ぐ～「ごきぶりホイホイ」の技術を応用～

日本の美しい森林がナラ枯れで今失われつつあります。ナラ枯れは、カシノナガキクイムシという害虫によってミズナラやコナラなどが集団的に枯れる現象です。日本海沿岸を中心に被害が拡大し続け、ここ数年、秋田・青森に連なる世界遺産の白神山地の近くでも被害を受けています。これらを放置すると森林の生態系が破壊され、土砂災害や農作物への影響など私たちの生活を脅かすことにもなりかねません。

アース製薬では、こうした問題に取り組み、樹木の噴霧処理剤「カシナガブロック」を滋賀県・森林センターと共同開発しました。「カシナガブロック」は「ごきぶりホイホイ」の粘着技術を応用した製品で、農薬や殺虫成分は一切使用していません。現在、滋賀県をはじめ、複数県で使用されており、樹木に噴霧することでカシノナガキクイムシの侵入・移動・繁殖をブロックし、樹木を守っています。

ナラ枯れ県別被害状況



被害が出ている山ではナラ枯れの茶褐色部分が目立つ



成木に噴霧し、カシノナガキクイムシの侵入や移動を防ぐ

環境マネジメントシステム

「エコアクション21」の運用

国内全事業所で「エコアクション21」の認証登録

2009年1月に本社・工場で環境省策定の環境マネジメントシステム「エコアクション21」の認証登録を受け、2010年4月には国内全事業所まで認証拡大し、全社で環境保全に取り組んでいます。

このほか、坂越工場、赤穂工場では、2010年4月に赤穂市と「赤穂環境パートナーシップ※」を締結し、地域社会と連携した取り組みも行っています。

※ 赤穂市と市内事業者が協働し、事業活動に伴う環境負荷を計画的に低減させることを目指す制度。

全社員を対象に環境教育を展開

2007年5月に定めた「環境方針」に沿って社員一人一人が高い意識を持って活動できるよう、全社員を対象に環境教育を行っています。また、各職場での取り組みをより一層推進す

るため、管理者を対象とした社内研修も実施しています。今後は担当・役割に応じた教育を拡充していきたいと考えています。

環境内部監査の実施

本社・工場・国際本部・支店などを対象に環境内部監査を年に一度実施しています。監査ではチェックリストに基づき、取り組み状況を評価し、改善につなげています。今後一層、内部監査員の育成と監査の実効性の向上を図り、環境マネジメント体制を強化していきます。

法令順守以上の活動を行うための定期的なチェック

事業活動を行う上で対象となる環境関連法規制は数多くあり、定期的に法令順守評価を行っています。2010年度も違反はなく、関係当局からの指摘なども過去10年以上ありません。しかし、法令順守は最低限の義務であり、常にそれ以上の活動を行えるよう、定期的にリスクの把握と対策を行っています。



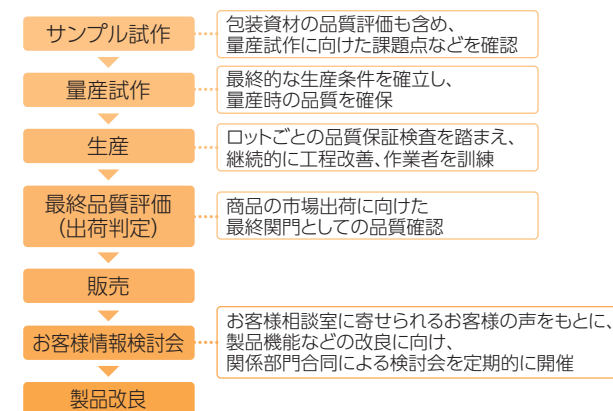
お客様とのかかわり

安全性確保と品質向上

安全性を最優先に常に「ベストクオリティ」を目指す

当社の企業理念のもと、製品開発から資材調達、生産、物流、販売に至るすべての過程で、人や環境への安全性を最優先に、お客様が求めるあらゆるものに対して「ベストクオリティ」を目指しています。そのため、ものづくりの各過程で確認事項を定め、さまざまな観点からチェックすることで品質の保証に努めています。

基本的な品質保証の流れ



海外でも「日本品質」を実現する

現在、海外の工場でもアースブランドの製品を生産していますが、当然、アース製薬の品質基準を適用しています。文化風土の異なる海外であっても、品質基準に対する考え方を共有し、品質監査を定期的 to 実施することで品質を確保しています。さらに、委託先の経営陣はもちろん、各作業員に至るまで「日本品質」への理解を深めるための研修を行い、品質への意識の向上や情報の共有に努めています。

お客様の声を共有する仕組み

貴重な情報としてお客様の声を全社で生かす

お客様のニーズに合った製品をご提供するという考えのもと、1994年度に消費者室を設置し、2002年度にお客様相談室と名称を変え、真摯な対応に努めてきました。2010年度には約74,000件のご相談をいただきましたが、製品の使用方法や安全性に関するご相談が最も多くなっています。こうしたお客様の声は、より良い製品づくりに欠かせない情報だと考えています。そのため、これらの情報をデータ化し全社で共有できる仕組み「TACOシステム※」を構築して、製品の改良や新製品の開発に生かしています。

また、多くのお客様に知っていただきたい情報は「よくあるご質問」などにまとめてホームページで公開しています。

※ Tactical Antenna for Consumers' Opinionsの略。
昆虫のような触角機能で、お客様の声を蓄積し製品戦略に生かしていきたいという思いで名付けました。

Web お客様相談窓口 > よくあるご質問
<http://www.earth-chem.co.jp/customer/qa/index.html>

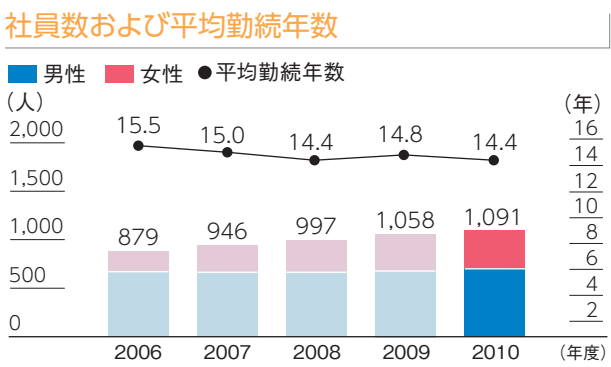
お客様のご意見には製品でも応えます

お客様相談室
川人 展子

お客様相談窓口寄せられたお申し出・ご意見については、適切に対応すると同時に、その内容が今後の製品に生かされるよう、社内に伝えることも私たちの重要な役割です。私たち相談室員が電話などでお客からご意見をいただくときは、お客様と同じ立場に立ち、製品を実際に使ってください「お客様目線」を忘れないように心掛けています。そういった目線で伺ったお客様のご意見を社内の関係部署に伝え、より良い製品づくりにつなげています。

社員とのかかわり

人材の雇用と育成



人を 権を尊重し 多様な個性を持つ人材を確保

独自の視点と発想で新しい価値を生み出し続ける組織であるためには、多様な個性を持つ人材が必要です。そのため、人種・性別・年齢・国籍・宗教・障がいなどを理由とした差別やハラスメントを排除しています。

社 員一人一人の 成長をサポート

当社の社訓に掲げる「熱意・創意・誠意」ある人材を育成しています。一人一人の資質を磨くことを主眼とした職種・階層別の研修を全社的に実施しています。また、社員の自主性を尊重し、自己啓発活動を支援するために、通信教育制度や資格取得支援制度の拡充にも力を注いでいます。今後はスキルアップ研修や女性社員向けの管理職育成研修も充実させたいと考えています。

働きやすい職場環境づくり

育 児をしながら働く 社員を支援

雇用形態を問わず、出産する女性の9割以上が育児休職制度を取得し、その後職場に復帰しています。このほか、産前産後休暇と年間5日までの看護休暇を有給として認めています。さらに「アース健康相談ダイヤル24」という相談窓口を設け、育児相談なども受け付ける体制を整えています。今後も仕事と家庭生活のバランスをうまくとって働き続けられる職場環境づくりを目指し、さらなる制度の充実や就業環境の整備を図っていきます。

育児関連制度の利用者数 (単位:人)

年度	2006	2007	2008	2009	2010
産前産後休暇利用者数	2	8	7	9	12
育児休暇利用者数	2	7	7	10	11

メンタルヘルスの 勉強会を実施

社員一人一人がセルフケアの意識を高め、心身ともに健康であることを保持する目的で、2009年度からメンタルヘルスの勉強会を実施しており、2010年度は約830名の社員が参加しました。今後は、管理監督者が部下に対して適切な支援を行うラインケアの勉強会を実施するとともに、さらなる啓発活動にも注力していきます。

地域社会とのかかわり

社会貢献活動の推進

社 会との コミュニケーション

社会とのコミュニケーションの一環として、取引先・地域の方々や社員の家族を対象に工場見学を実施しています。製品づくりの舞台裏やそこで働く社員を知ることができる工場見学は、当社の活動への理解を深めていただく貴重な機会と考えています。2010年度は67回、812名の来訪がありました。また、坂越工場、赤穂工場の地元赤穂市で2010年10月に開催された「環境フェア2010」にも出展し、コミュニケーションを図っています。



「環境フェア2010」にて当社の活動を説明

地 域の環境に配慮した 社会貢献

地域社会に対する環境配慮の取り組みとして、本社・工場周辺の清掃活動をはじめ、さまざまな活動を続けています。坂越工場は瀬戸内海に面した場所に立地しており、油漏えい事故を想定した訓練を定期的に行っています。2010年度も地域住民の協力のもと、社員約40名が参加して油の拡散を防止するオイルフェンスを海面に張る訓練を行いました。

被 災地などへの 支援活動

被災地などへの支援活動を行っており、2010年度は次のとおり実施しました。

支援活動(2010年度)

時期	支援内容	提供品
1月	ハイチ地震発生における日本赤十字社の被災地での救援活動支援	蚊に効くおそでノーマット(携帯用蚊とり・虫よけ器):本体セット 120個、つめかえ 360枚
7月	宮崎県 口蹄疫対策本部への支援	ウィルガード バイラマスク(高性能マスク):100,000枚
10月	奄美大島豪雨における被災地支援	薬用モンダミン(洗口液):1,200本 ミューズ消毒ハンドジェル(外皮消毒剤):1,500本

※このほか東日本大震災に際しても、当社製品の寄贈などにより支援を続けています。

Topics タイの洪水被災地に対する支援

タイでは2010年8月から11月にかけて、大規模な洪水が各地で発生し、過去数十年間で最悪の惨事となりました。10月には軍やテレビ局、ボランティアが中心となって、被災地支援の物資が募られ、子会社であるアースケミカル(タイランド)株式会社も賛同し、蚊とり線香などの当社製品を寄贈しました。

- <提供品>
- ・ARSプラス蚊とり線香:21,600巻
 - ・サラテクト虫除けローション:1,200個



物資は即座に袋詰めされた

「アース製薬株式会社 環境報告書2011」 アンケート

「アース製薬株式会社 環境報告書2011」をご覧ください、ありがとうございました。

2011年度は社会性報告も加え、内容の充実に努めました。

今後の環境や社会に対する取り組みや環境報告書の参考とさせていただくため、

皆様の忌憚ないご意見・ご感想をお聞かせいただければ幸いです。

ベ ス ト グ オ リ テ ィ で 世 界 と 共 生



環境保全委員会事務局宛にFAXをお送りください。

アース製薬株式会社 環境保全委員会事務局

FAX : 0791-48-0706

Q1 本報告書について、ご感想をお聞かせください。

全体的な評価

☐ 大変評価できる ☐ 評価できる ☐ 普通 ☐ あまり評価できない ☐ 評価できない

内容のわかりやすさ

☐ 大変わかりやすい ☐ わかりやすい ☐ 普通 ☐ 少しわかりにくい ☐ わかりにくい

内容の充実度

☐ 大変充実している ☐ 充実している ☐ 普通 ☐ 少し物足りない ☐ 物足りない

Q2 環境に対する取り組み(P.9~15)について、ご感想をお聞かせください。

☐ 大変評価できる ☐ 評価できる ☐ 普通 ☐ あまり評価できない ☐ 評価できない

Q3 お客様や社員、地域社会に対する取り組み(P.16~18)について、ご感想をお聞かせください。

☐ 大変評価できる ☐ 評価できる ☐ 普通 ☐ あまり評価できない ☐ 評価できない

Q4 本報告書の中で印象に残った項目、興味をお持ちになった項目をお選びください。 (複数回答可)

- | | |
|---|---|
| ☐ 企業情報・事業概要 | ☐ 【環境報告】製品における環境配慮 |
| ☐ トップメッセージ | ☐ 【環境報告】環境マネジメントシステム |
| ☐ 【特集】アース製薬のものづくり | ☐ 【社会性報告】お客様とのかかわり |
| ☐ 【環境報告】環境負荷の全体像 | ☐ 【社会性報告】社員とのかかわり |
| ☐ 【環境報告】環境保全目標と実績 | ☐ 【社会性報告】地域社会とのかかわり |
| ☐ 【環境報告】事業活動における環境配慮 | |

Q5 本報告書について、記載が足りなかった点、改善した方が良い点があればお聞かせください。

Q6 本報告書をどのようなお立場でご覧になりましたか？

- ☐ お客様 ☐ 株主・投資家 ☐ お取引先 ☐ 当社事業所近隣の方
- ☐ 企業・団体のご担当者 (☐ CSR ☐ 環境 ☐ 人事 ☐ 社会貢献 ☐ その他)
- ☐ 政府・行政機関 ☐ 調査・研究機関 ☐ 学校・教育機関 ☐ 金融機関 ☐ 報道機関 ☐ NGO/NPO
- ☐ 学生 ☐ アース製薬グループ社員、家族 ☐ その他()

お差し支えなければ、以下にもご記入ください。

性別: ☐ 男性 ☐ 女性

年齢: ☐ 10代以下 ☐ 20代 ☐ 30代 ☐ 40代 ☐ 50代 ☐ 60代 ☐ 70代以上

ご協力ありがとうございました。